



■ 群馬県出身 法学部 4年

社会的に弱い立場に置かれている人々に対しても
目を向けられるような弁護士になりたいです。

Q 維持会奨学生として思うことは？

維持会の皆様のおかげで、安心して大学に通うことができることにとても感謝しています。私も維持会奨学生であることに誇りをもって、残りの学生生活を有意義に過ごしていきたいと考えています。また卒業後も、様々な活動を通して維持会とつながりを持っていきたいと思っています。

Q 一番興味のある授業は？

「社会保障法」の授業です。授業内のレポートでは、若者の雇用の問題、高齢化社会と年金問題、児童福祉の問題などに取り組みました。元々、このような社会問題に関心があり、法学の観点から解決策を模索していくことができました。

Q 課外活動で力を入れていることは？

将来に向けて、法律の勉強に力を入れてきました。また、英検や TOEIC に力を入れていきたいと考えています。

Q 慶應義塾の良いところは？

横のつながりだけでなく、縦のつながりも強いところです。実際に、私自身も研究会などを通して多くのOBOGの方々と関わらせて頂きました。このような縦のつながりがあるのは、慶應ならではの強みなのだと思います。

Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

4年生となり卒業まで残りわずかとなったため、やり残したこととして、海外旅行や短期留学をしたいと思っています。様々な文化や異なる価値観を持った人々と関わることで自分の視野を広げ、柔軟性を身に付けていきたいと考えています。また、英会話もあまり得意ではないため、語学力も身に付けていきたいと思っています。

Q 卒業後の進路、将来の夢は？

将来的に弁護士になりたいと考えています。これまでの自分の経験や慶應義塾で学んだ知識を生かして、社会的に弱い立場に置かれている人々に対しても目を向けられるような弁護士になりたいです。そのように活動していくことが、自分がこれまでにお世話になった方々に対する恩返しになると考えています。